

会 議 録

1 会議名	平成21年度 第8回河内自治会議
2 開催日時	平成22年3月18日(木) 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	河内地域自治センター 2階会議室
4 出席者	<p>【委員】 中村祐司(会長), 山根登(副会長), 伊藤昭博, 大田原加久司, 菊地久美子, 小嶋由美子, 駒田静雄, 櫻井清一, 渋井トミ子, 五月女勝正, 五月女純, 手塚米子, 中西幸子, 永見幹夫, 福田義雄, 前野巖, 森本喜美子</p> <p>【事務局】 河内地域自治センター所長, 河内地域担当参与, 地域経営課長, ほか4名</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	【傍聴者】 1名
7 会議経過	(1) 開 会 (2) 報告事項 ・合併市町村基本計画の執行状況について (3) 協議事項 ・まちづくりに関する施策の提案について (4) その他 (5) 閉 会

1 開 会

事務局	<p>ただいまから、平成21年度第8回宇都宮市河内自治会議を開会させていただきます。今回で今年度の最後の自治会議となりますので、皆さま、よろしくお願いたします。まず、委員の出欠につきまして、事務局からご報告いたします。本日は、清水委員、西岡委員、松谷委員から欠席の連絡をいただいております。本日の会議の出席者数は17名で、委員数の過半数に達しておりますので、会議が成立することを報告いたします。</p> <p>それでは、この後の進行を会長にお願いいたします。</p>
会 長	<p>皆さま、こんにちは。お久しぶりでございます。前回は2月4日ということで1ヶ月半が経ちます。早いもので河内の自治会議に来る度に、議論にもなっている豊かな自然ですが、季節の感じ方が市の中心部よりも1段深いというか味わいがあるというか、萌えてきています。本当に春がやって来たという思いです。今、事務局からお話がありましたように、いよいよ今年度最後の河内自</p>

治会議ということになります。そうは申しましても、おそらく次回は市長から合併市町村基本計画の進行状況についての諮問が我々に出されて、そしてそれをめぐる意見ということが、次回からは本格化します。それからまちづくりについても、今日の各部会からも貴重な活動を報告していただきますが、それも平行してやっていくということで、年度の最後ではありますが、4月以降の活動に繋いでいく上での非常に重要な中身を伴った会議になるのではないかと思います。いろんな情報が出て意見を言っていたいただければと思いますので、私も集中して時間内に精一杯皆さんの意見を引き出したいと考えていますので、どうぞよろしくをお願いします。

2 報告事項

(1) 合併市町村基本計画の執行状況について

会 長	<p>それでは、今年度最後の第8回宇都宮市河内自治会議の報告事項から始めたいと思います。次回から、メインとしては合併市町村基本計画の執行状況について我々がどのような意見を出していくかということと7月8月に向けて、審議が本格化していくかと思いますが、合併市町村基本計画の執行状況の報告事項として事務局から概要の報告をお願いいたします。概要の報告も具体的な話がありますので、内容を少し丁寧に説明していただけたらと思います。それでは、よろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>はい、それでは、報告事項ということで、合併市町村基本計画執行状況について説明させていただきます。</p> <p>(資料1「合併市町村基本計画」地域別計画河内地域における主要事業の執行状況、資料 宇都宮市総合計画実施計画の概要、資料 平成22年度当初予算案の大綱について事務局説明)</p> <p>説明は、以上となります。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。非常に内容が具体的な話ですし、あくまでも河内地区の12事業だけではないということが良くわかりました。それから、資料の宇都宮市総合計画実施計画の概要と平成22年度当初予算案の大綱では、宇都宮市の中での河内地域ということで、河内地域のことだけ考えて見ると見にくい資料かもしれませんが、位置づけという点で全体を見渡すという点では格好の資料になっているかと思います。次回以降の議論の元になる共通のデータになりますので、丁寧にそれでいてコンパクトに説明していただきました。</p> <p>報告事項となっていますが、自由な関連の意見、12事業のどれかでも結構ですしそれ以外でも結構ですので、主に12事業について具体的な来年度(H22年度)の予算額という面から見るとかなりデコボコがありますが、その点の理由の説明もありましたので、質問なり意見なり順番というよりは、自由にこの事業についてという形で出していただければと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>では、私のほうから質問になるのですが、上河内と河内はともかくとして、まさに12事業の合併市町村基本計画があるのですが、他の地区ということでは地区別の予算事業というものは、用意されているのですか。</p>

事務局	ないと思います。
会長	<p>ないのですね。</p> <p>作れという意味ではなくて、実質的に上河内と河内の場合の事業に付いている12事業のお金について見ていこうと思ったら、平成22年度当初予算案の大綱では拾えきれなくて、実際には予算書に入るとひとつひとつ書いてあって、合併市町村基本計画を見ても12事業に限って言えば具体的な事業をすると書いてあるわけです。</p> <p>思いつきですが、地区別のことがあると全体ではその地区については全部見られるということになるのですが、なかなか実際に作れということになると大変なことでやっていないということです。</p> <p>執行状況の資料の写真とか本当にありがとうございました。わかりやすく丁寧に撮っていただきました。</p> <p>何かございますか。いかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>私が自治会議に関わらせていただきまして1年になろうとしておりますが、12事業のうちの少なくとも10事業は、なかなか私たちがこの場で話し合っただけでそれが反映されるということは、あまりないのではないかと感じました。プラスαの意味ではあっても、事業自体は変わって行かないなというのが実感いたしました。</p> <p>事業③と⑦ですか。この地域自治センターと生涯学習センターの併設を含めた改修というか整備は、これからまだまだ先のことだと思うのですが、私たちが真剣にそこで、発信できたり考えたりすることができると思うのは、この2つの事業だと思っています。一応このような会議の時にも折に触れて、この併設あるいは改修についての話し合いを続けていければ、ここから良いものが発信できるのではないかとそれだけは感じました。</p>
会長	<p>自由なご指摘ありがとうございました。まさにそう思います。次回以降に諮問が出されて、委員がご指摘された地域自治センターと生涯学習センターの併設といっても、具体的にどこにどういうものをどういう形でといったものが、我々の会議の力量が問われて、それを出そうと思っても実際に答申に盛り込めるかどうかは微妙なのですが、ただそうだとすると我々の一歩二歩進んだ具体案を是非、この会議で案の段階で出して行きたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>2点、あります。</p> <p>まず、道路の工事の関係ですけれども、市道20042号線というのが子供たちの安全な通学に大変重要な道路であると認識をしているのですが、これはかなりの投資をしてくれていますので、どの程度まで進んでいつ頃完成する見込みなのかとわかっているのであれば、教えたい。</p> <p>もう1点は、総合運動公園の件ですが、今年先取りで完成をすると、その後は、どのような運用活用をするのか。野球場等の活用の見込み、今度は市としての設備ですから、河内地区だけの方が使用する設備ではありませんので、ど</p>

	<p>ういう運営方法でどういことを盛り上げていきたいということで計画されているのか。箱はできても、後の活用の想定がわかりましたら教えいただきたい。以上2点のことをお伺いしたい。</p>
会 長	<p>よろしいでしょうか。まず進捗状況ですね。</p>
事務局	<p>まず、道路整備市道20042号線ということですが、こちらはかなり長い道となっております。地図を見ていただければわかりますように、古里中のすぐ北側を白沢街道からずっと生涯学習センターと古里中の西側の通りを抜けて、東側の坂の下の田んぼの道へ抜ける道です。進捗状況につきましては、何メートル終わっているとか、申し訳ございませんが、そこまで私どもも把握はしておりません。ただ、先日この路線を車で走って、写真にもありますように道を通って見て来たところですが、まだ道を具体的に広げて舗装をかける工事というものまでは、進んでいない状況です。今の段階では、こちらの林を伐採してある写真を載せてありますように、実際に用地買収をかけて、それから測量をしてどこまでになるのかを決めて、杭を打つ等してあります。現場を見ていただけると非常に実感できるかと思えます。少しずつそのようなことが始まったところだと捉えております。それから古里中から東側の部分につきましては、私も見て参りましたが、こちらはまだまだ手が着けられていないような状況でありまして、始まったばかりという程度の印象です。執行状況何%かと言われますとそこまでお答えすることはできませんが、これから始まったところで、伐採されて具体的な拡幅の工事がこれから進められるとのイメージです。</p> <p>それから、総合運動公園ですけれども、確かにご意見いただきましたように、せっかく良いものが完成したので、どのように使われていくのかということが一番重要なことだと考えております。こちらにつきましては、宇都宮市の施設ドリームプールかわちの管理所の中にスポーツ振興課の職員が常駐しております。そちらの職員が、プールや陸上競技場、それから運動公園全部についてはスポーツ振興課として管理しておりますので、基本的には新しい施設につきましても、スポーツ振興課で所管しまして管理というものを進めていくものこちらでは考えております。実際にどのような活用になるのかということにつきましては、確認がとれていない状況ですけれども、今までと違いまして、グラウンドに夜間照明がついたグラウンドですので、夜間等については、会社が終わった後の社会人の方々が、利用されるのではないのかと想像しております。今のところお答えできるのは、そのような段階になります。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございました。</p>
委 員	<p>道路の件ですが、進捗状況がどうのではなくて、今もうすでに4億いくらのお金を使っていて、総額概算25億円かかりそうだとか、いろいろ地権者があるので、あと3から5年かかりますとか、そのようなことが知りたかったのです。そういう状況の中で優先するとすれば、東側の方は人家があまりありませんので、逆に西の王子製紙の抜けた所は、早く整備をしてあげたいというのが我々住民の意思なものですから、そのような概要を知りたいというのが私の質問です。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>どうでしょうか。可能性としてなんでもしょうけれども、事業の1本の路線にしても、長い場合等こちらから進めたほうが良いのではと、答申に盛込める可能性としてはあるのでしょうか。それも議論の話になるのでしょうかけれども。</p>
事務局	<p>古里中学校の北側道路の整備の方針については、やはり学校の近くで通学路になっている。その上、委員の方からご意見がありましたように、自治センターの東側を通っている通称12メートル道路と言っていますが、それから西側が山林の中で、現在買収が終わったところで伐採されてやや明るくなりましたけれども、冬とかの日が短い下校時には、男子生徒でも怖いという嫌な雰囲気だったと思います。12メートル道路から西側をまず整備して、その後に東ということになるかと思えます。また、12メートル道路の東側の利用者よりも西側利用者のほうが確か多いと思えました。白沢街道まで一気にいけばいいのですけれども、用地買収のこととか現在の予算計上とかすると、ふれあい通りまでが第一期として開通するのではないかと思います。ふれあい通りからの西への部分というのは住宅地がありまして、同じ買収費用だとすれば買収の進捗が遅くなると思います。財政の話をしてしまうと身も蓋も無いのですが、今年の予算が今までに比べると大分減っております。そういう財政の状況がありますので、見通しがいつ頃と申し上げられなくて申し訳ありません。</p> <p>もう1点補足説明させていただきますが、先ほどの総合運動公園の今後の利用関係については、これも決まった方針ではないのですが、本市の場合にはスポーツ施設を指定管理者で民間あるいは第3セクター等に委託をして、サービスをより良いものを提供してもらい尚且つ、管理費も少しでも低価格でおこなってもらおうという方法があります。これについては、いくらで任せていいのかという実績がないといくらで任せるかの算出ができないということで、1年か2年程度わかりませんが一定期間の実績を見た上で、これだったらいくらでお願いしたい。あとは、受けた会社がいろいろ人集めに努力をしたり何かのイベントを開いて収益を上げること等によって、市からの委託料以外に収益を上げた分が会社の収入になるというインセンティブという刺激を与えるような方法に移行するのではないかと予測しております。この部分に関しては、決まったわけではありませんので、誤解のないように聞いていただきたいのです。以上です。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>今の道路建設の件についてですが、この事業を進捗するのに何か問題点があるのではないかという印象があります。22年度の予算が2500万円という金額で、21年度の予算額が1億5800万円という実績になっておりますので、大分縮小されたということになります。確かに財政状況が大変厳しいとのことで、市全体でも昨年の予算額に比べると100億円ぐらい減っているとなるわけです。予算額が全体的に減っているのか、それとも事業そのものを推進するのに何か問題があるのか、その為にこのような予算付けになってきているのではということですか。先ほど意見がありましたように、展望が見えて来ない気がします。この道路建設事業が重点路線と位置付けするのであれば、それな</p>

	<p>りの事業推進の方策を検討していく必要があるのかと思います。参考意見として申し上げます。</p> <p>もう1点は⑩番の農村公園等整備事業ですが、24頁に答申内容や執行状況が記載されてありますが、公園のイメージそのものが、現在の現地状況を写真で見ても雑草が生えて荒地になっているようです。この雑草を管理するメンテナンス費用もかかってくるのではないのかと思います。このような進捗状態であれば、何も作らなくてもこちらを整地にして広場として使えるようなものにしてから、具体的に施設などの計画を導入していきながら検討していく方向が良いのではないかと思います。このように荒地にしたままですと、土地利用の活用にならないのではないかと思います。簡単でいいので雑草の生えないような整地にして、維持管理をする必要もあるのではないかと私の意見として申し上げます。</p> <p>以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>今のご指摘の農村公園等整備事業につきましても、なかなか着手しようがないというのが難しいところですが、こういったところを、我々が次回の答申の中でリードしていくという方法があります。100%我々の意思が盛込めるかどうかはともかく。それから、総合運動公園の管理にしましても、どういう管理形態がいいのかということも禁止されていないわけです。整備が終わったから、河内自治会議では何もというわけではなくて、ぜひ、次回以降に総合運動公園の管理について案を練っていただけたらと思います。</p> <p>ありがとうございました。それでは、ご発言があるかと思いますが、部会の報告のほうでも絡んで来るとは思います。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委 員</p>	<p>先ほどから、細かく具体的に説明していただきましてありがとうございました。事案の12事業の件につきましては、予算の関係が裏づけされているものもあるし、これからまだ検討していかなければならないものもあるわけですが、とにかく、自治会議が発足して3年目が終わるところで、進捗状況があるということは非常に良いことです。確かに早い遅いはあるにしても進んでいるのだと、気を良くしております。それから、新年度になりますとさっそく諮問のほうも検討しなければいけないわけですし、それについても精力的に取り組んでいかなければいけないと考えています。昨年も自治センターの主催で事業についてのコースを、ひと通り案内していただきました。それによって具体的に認知することができ非常に勉強になりました。それから1年経ちまして、来年度に向けて諮問にあたり更にどういう意見を出して行くのか、改めて自治センターで、事業のコースを回る見学会といいますか勉強会を行っていただけると、より具体的な意見が構築されるのではないかと思いますので、時期を選んで4月の都合の良い日に案内していただけるとありがたいと思っております。特に、まだまだ進んでいないのが、自治センター拠点の整備と生涯学習センター併設がアイディアのままですと、具体的な諮問まで至っていないように思います。ですから次回見学する時は、この辺を重点的に。それ</p>

	<p>から、岡本駅西口の膨大な区画の関係を、じっくり案内いただければ、更に具体的な意見がそれぞれ交わされるのではないかと思います。ご面倒ですけれども、勉強するチャンスを計画していただければありがたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>ご提案ということで、私も現地を見るということは必要だと思います。けれども、スケジュールから見たり予算的なものから考えるとどうでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。委員からもご意見がありましたとおり 1 年が経っていますので、新たに進捗状況を見ていただくということで、スケジュール等を調整してご案内したいと思いますので、その時はどうぞよろしく願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは実施するという方向で、検討していただいてよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。実施する方向で検討いたします。</p>
会 長	<p>皆さまよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>次にまちづくりに関する施策の提案についてです。各部会の状況につきまして、部会長から報告をお願いいたします。生活環境検討部会からお願いいたします。</p>
委 員	<p>生活環境検討部会でございます。何回か会議を開きまして今回までに、提案の要望として高齢者外出支援事業の利用交通機関等の拡大と公共交通機関の利活用の二つの柱を立てました。</p> <p>まず 1 点目として高齢者外出支援事業の利用交通機関等の拡大をお願いできないかと思えます。具体的な話として、現在は公共バスの助成になってはいますが、これをタクシーにしてほしい。河内地区では公共交通のバスが利用しづらいとのことですので、これを支援の範囲内でタクシーを利用できなかつたという事業拡大をお願いできないかとのことでした。</p> <p>2 点目は公共交通機関の利活用です。これは鉄道とバスの関係です。市の公共交通利用促進とか、生活交通確保対策の推進を市の交通政策課で検討しておりますが、具体的な話として、鉄道の利活用として考えた場合に岡本駅の利活用をしていきたいとの考えです。駅に自転車や自動車の駐車場の確保としてパークアンドライド的なものです。現在も駐輪場はありますが、自動車の駐車場が少ない。特に、月極めはあっても時間貸しが無いとのこと、整備していただくというか、確保していくような政策を考えていただければと思っております。それから、宇都宮駅到着の最終新幹線と下りの接続する列車を増発していただくか、下り列車の時刻の延長をしていただく等の、鉄道の利活用の促進をお願いできればと思えます。</p> <p>バスのほうですが、これも利便性の向上が上げられています。具体的には、バス路線の見直しをしてルートの変更や延伸、増設等して、利用しやすい運行のネットワークの確立をしていく必要があるのではないのかと考えますので、ぜひ、交通政策課でも検討していただければと思えます。</p> <p>そして、生活に密着した公共的地域内交通の確保ということは、循環バス等のことですが、まちづくり協議会のほうでも話がありますが、部会のほうでも並行して協議していければと思っております。また次回以降ですが、これ以外</p>

	<p>のテーマも検討していきながら、最終的に提案にまとめていきたいと思えます。以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい。丁寧に資料も付けていただいて、ありがとうございました。</p> <p>私のほうからお願いですが、ひととおり部会から報告していただきますが、その後、ぜひご自分が属さない部会への意見を少しでも言っていただいて、さらに部会の活動の活性化に繋がると思いますので、ご協力よろしくお願いたします。</p> <p>それでは次に、スポーツ・教育・文化検討部会の部会長から報告をお願いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>今まで5回その後1回開いて、本音で話し合っています。その中で我々は、スポーツ・教育・文化を一体で考えなければならいと捉えています。まだ、これに絞って提案の内容にしようという段階に至っていません。いろいろお話している中で今回の検討案は、部会委員の中から、教育に関しての今の実態というのを何項目か出していただきましたので、このことについての話し合いを行ってみました。特に現在は、親学の推進ということで、PTA活動の活性化というのをぜひやっていかなければならないということがありました。それから、情報を得た中に、小中一貫教育をこれから行っていくということで、その一貫教育の中に「会話科」というものが採用されるということです。これはすごく良いことで、「会話科」ができたなら、ぜひ、正しい日本語をしっかり教えてもらえると良いのではという意見も出ています。それから、宮っこステーションについては、地域で積極的に進めましょうということで、この支援策についての提案も良いのではないかと話が出ました。また、学校体育館の地震対策で、校舎の整備等も行っていますけれども、この資料にも書いてありますが、田原中の天文台の予算が少ないということですが、これからは宇宙に出ていく時代なので、河内地区でこのような施設を持っているということは誇りに近いので、おおいにこの天文台活用の活性化に持っていくことができないか。また、地域の郷土芸能についても、お囃子や太鼓をやっているようですけれども、後継者がいなくて行き詰っているようで、この点もかなり話題に上がりました。あとは学校と地域の連携強化を、今はいろんなことでやっていますけれども、具体的な進み方が、顕著になっていないということが課題になっています。それから、教職員の業務負担増ということが、子供に目を向けてフォローしてあげなくてはいけないところで、なかなか時間が持てないという部分で、地域の我々が、側面的にどのようにフォローしていけるのかということです。ただ、教職員側も、簡単に我々に支援してほしいと言えない部分があるということで、その辺りも考えなければいけないのではと。</p> <p>今回のまとめでは、今、青少年育成協議会が主催しているイベントが年に3回ほどあり、かなり幅の広い諸団体が出て、スポーツ関係も文化的なこともやっているということなので、委員の方も参加している文化協会等もいろんな所の団体の方が、参加できるものづくりをしていきたい。極端にいうと運動会よりもこういうところにお金を使ったらという話も出ていました。あと、郷土芸能の継承については、すでにコンタクトを取り始めていますが、実際にやって</p>

いる方の話を聞いた上で、どのようにすれば、河内の歴史を含めた伝統文化を残していけるのかということを知りたい。天文台については、先ほど話したとおりです。まちづくり部会というのは、それぞれの部会がある中で、その中の調整役的で、その部会から出てきたものをトータルとしてまとめることができる部会ですので、ぜひ、このような場で、まちづくり部会のための議論というものを進めて行けたらいいのではないかという気がいたします。まちづくりの提案に関しましては、私どもの部会にまちづくり部会の委員の方もおられますので、そちらからも依頼があるのではと思います。また先日、宇都宮大学の陣内先生のまちづくりの講演を聞かせていただきまして、河内地区の白沢というところは、大変に歴史のある資産を持っている所だということを知りました。宇都宮地区の中でこのように、鍵の手になっている町並みが残っているのはここだけだそうです。そういう意味では、この町並みを整備して、白沢宿を活性化するような会を立ち上げていければ、他の地域に自慢できる所になるのかと思います。散策路等を作って行くなどすると、楽しいことになるのではないかと。また、散策路を広げて行ければ堤防の方の公園にも回れて良いのではと考えていたりしています。また、検討していきながら提案はどのようにまとめて行くかやっていきたいと思っています。

以上です。

会 長

ありがとうございました。次に自然・農業検討部会お願いいたします。

委 員

今回は、当地区の農業の現状と課題についてと、当地区の農業振興策についてということで、部会委員の他に4Hクラブの福田利行様を招いて、現状についての話を伺いました。

まず、検討事項の現状と問題点ということで、挙げてあります。1. 収入が少ないので農業だけでは食べていけないのが現状です。2. 栽培技術の向上で収穫が増えても収入は減っているという現状にあります。3. 認定農業者はこの河内地区でも117名いますが、規模拡大して生産コストを下げることが目的ですが、思うようにいっていないというのが現状です。4. 減反が今年は宇都宮全地区が同じ減反率になっているので、減反の所の遊休農地が荒地になっているのが見られ、良いアイディアはないのだろうかということ等が、問題点に挙がってきました。それから新規就労者の中には、会社を定年になってやる人が最近は多くなり、その他に今までやってきた人も高齢化になっている人が農業従事しています。機械化によって作業は楽にはなっていますが、現状から言うと、使い方によっては危険度が上がってきていることが言えます。後継者問題ですが、年収が影響しているのではないのかという意見でした。それから、オランダと違って日本の農業は3Kのイメージがあるのか若者の結婚が難しいということで、農業だけの問題ではないのですがイメージが良くないとのことです。

次に農業従事者の体験談ということで、福田利行さんから話が出ました。お米だけではやっていけないが、高齢者になっても農地は守っていきいたいという人が多く、難しいところもあります。また、お米から変わって新しい作物にということであると、初期投資のかかるトマトよりイチゴが良いということで、福

田さんの場合は始めましたが、借金を抱えてなかなか難しいということです。また、お米は兼業農家には手間がそれ程かからないので良い面があるが、規模を拡大していかないと生産性が出ないということになります。現在、減反ということに関して国の助成金は、田んぼには出ても畑にはほとんど補助金が出ない。そうすると、畑が手付かずになって荒地になって収入にならないので、福田さんの場合はイチゴを中心に生産しているが、それ以外の収入を考えなければならないということでした。それから、農協の出荷では50%位しか収入にならないので、手数料を考えても直売所は魅力的であるということです。

今までの話から、どのようなことをしていけばいいのかということで、直売所の開設はどうかということで意見が出ました。22年度の予算に直売所を取り上げる予算があるような話が出ているので、良い傾向なので、ここで河内地区でも候補地が検討できればいいのではと思います。人口1万人に1箇所あれば、採算性があるということです。問題は生産者の確保と箱物、開設場所、広さ等の数々の具体的な条件の検討が必要であるということです。それは、地元の生産者の確保や豊富な商品の持続的な流通ルートの確立がないと発展できないということです。期待できることでは、休耕地の活用策になります。また茨城では、価格が市価よりも高い鮮度と試食での味覚で評判を呼んでいる好事例があります。直売所で生産者の顔が見える販売をすれば信用と共に固定客が付きます。それから、生産者のみの立ち上げ以外に、農協の関与で開設したり、行政が箱物を提供している事例もあります。次に加工所の開設について意見がでました。田原の味噌造りは、交流センターでもやっていて自然発酵で美味しいが、販売は許可されていません。市貝の事例では、出荷規格外のイチゴを活用して仲間でジャム造りに成功しています。これらを考えると、果物、大豆の加工食品等で女性の能力の活用する場としても、加工所の開設は有効な事業となるでしょう。

その他として、4Hクラブでは、遊休農地の活用として休耕地を借りて2保育園の子育てクラブなど100名によるサツマイモ栽培で食育を行っています。学校給食の地産地消は、行政の関係と業者の入札制度があつて難しいものがありそうだということです。部会の中では、直売所開設に向けてもう少し具体的な話ができればと意見がでました。

以上です。

会 長

はい。ありがとうございました。少し時間が超過しておりますので、ご意見がありましたら、次回にさせていただけたらと思います。

生活・環境検討部会からは、本当に切実な地域の足ということでタクシー利用等とかネットワークの確立ということです。更にコスト負担といいますが、バス利用とかよりタクシー利用のほうがかかると思いますので、その辺りをどうするのか話し合っていたらと思いました。スポーツ・教育・文化検討部会は、田原中の天文台とか、白沢宿の地域の貴重な財産とかを活かす非常に素晴らしい発想を立てていただきました。小中一貫の場合に関わる議論として、小学校の先生が中学校に行つて教え、中学校の先生が小学校に行つて教えるという負担といいますが、そのようなことをクリアしていくというご指摘がありま

	<p>して、お話していただきました。それから自然・農業検討部会からは、来賓に4Hクラブを招いて話を伺ったり、いろいろなアイデアが出ております。直売所の設置は、活性化のために素晴らしい案だと思いますが素人の私でしたら、その後の農協組織との調整とか、実際に直売所を立ち上げる場合に、担い手が自主的にどのようなになるのか。また、運営としての見取り図を描くのも大きな話になっていくので、ぜひ、議論は続けていただけて深めていただけたらと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、急ぎで申し訳ありません。部会の状況について説明をいただきました。今後とも、まちづくり部会の開催を含めまして、積極的に検討部会をやっていただけて、部会長を中心に話し合いを進めていただきたいと思います。</p> <p>それでは、その他委員の皆さんから、連絡事項等ございますか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>まちづくり部会から報告させていただきます。前回は中村会長の講義で、まちづくりについて地元の足元を見たようなお話をいただいて、大変参考にさせていただきありがたく思っております。今回は、中村会長と事務局の計らいによりまして、今日の会議の中で各部会の話し合いを協議事項と位置付けまして、かなりの時間をとっていただきまして感謝申し上げます。そして、中村会長の前回の講義の中で、例えば河内自治会議で行っている部会等で、活きた意見あるいは、発案、発信、有言実行、課題の先取りとそういうものを積み重ねて行くのが、極めて大切だというご指摘をいただきました。今日はそういう意味で、事務局と相談のうえ、お手元のアンケートを配らせていただきました。それらを基に、各部会で話し合いされた事柄を共有することが極めて大切であります。そして先程の中でも、まちづくり部会で検討していったほうが良いのではないかということをおなりに伺って、いくつかピックアップしたのですが、今日は時間が差し迫っていますので、ぜひ、皆さまお忙しいとは思いますが、そのアンケートに書いてありますように、我々の発信する大本を獲得するための研修会や勉強会あるいは、今日提案がありましたけれども、まちづくり部会として、もう少し煮詰めていったほうが良いのではないかというテーマ等、その他、何でも結構ですので、事務局のほうに4月12日頃を目安に提出いただけるとありがたいと思います。どうぞ、ご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。私のほうが力づけられる発言と、我々の会議の活動の中で部会の積み重ねが、いろいろな積み重ねに繋がることを感じました。それでは次に事務局から、何か連絡ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。それでは、お手元に資料2を用意させていただきました。早いもので、今回で21年度最後となりましたので、来年度22年度の4月以降の開催予定を今現在の案になりますけれども、簡単に説明させていただきたいと思っております。開催予定22年度の回数については、今年度と同じで全部で8回の会議を予定しております。時期につきましては記載されているとおりでありますが、詳細につきましては、都合により前後する可能性もありますので、ご了解下さい。基本的には今年度と同じような形で、前半のところで合併市町村基本計画の執行状況</p>

について答申を7月までに取りまとめて、8月に提出していきたいと考えています。その中で平行して、今日もお話していただきましたが、各部会でそれぞれ協議を進めていただき、今までと同じように自治会議の中で報告をいただいて、他の皆さまにも意見をいただきながら、全員でその内容を協議するという形で、毎回その時間は設けていきたいと思えます。その途中で、第3回6月に先進地視察ですが、前回も福島県の方にバスで行っていただきましたが、また、関東近県の視察勉強会ということも予定させていただきますので、こちらの日程をできるだけ早く案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。10月以降後半になりますと、22年度末に、まちづくりの提案書の提出に向けた具体的な協議を進めていただきたいと思えます。10月の第5回の段階で、各部会である程度取りまとめたものを自治会議全体会の方に出していただきまして、それを10月、12月、2月に提案書を文章化して、取りまとめて決定して行きたいと思っております。早いもので来年の3月、丁度1年後ですけれども、皆さんの任期の2年が終わり最終回となりますので、そこで提案書を提出し、それから、合併市町村基本計画が22年度はどのように進んだのか、本日と同じように説明させていただくと共に、また、昨年度いらした委員の方は経験されているかと思えますが、2年間のまとめということで感想だとか、会議の改善点であるとかそういったものについてお聞きして、その次の23年度に繋げて行きたいと考えております。資料のほうに細かく書いてありますが、会議の進行状況によっては変更する場合がありますので、今現在の考えられるイメージとして捉えていただくとありがたいと思っております。次回の4月の自治会議ですが、日程の最終調整がついていませんで決定されていませんで、4月の中旬ということで考えていますので、決定しだい皆さまに通知を差し上げますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

会 長

ありがとうございます。それでは、本日の会議を終了させていただきます。皆さまのご協力により、会議を進めることができました。お疲れ様でした。